

守り育てよう みんなの文化財



〈指定 工芸品〉

{ 金銅能作性塔
木造彩色宝珠台のうち木造彩色宝珠台
(海住山寺 [木津川市])

令和3年度新指定・暫定登録文化財の紹介

40

京都府教育委員会

はじめに

京都府教育委員会は、京都府文化財保護条例（昭和 56 年京都府条例第 27 号）に基づき、令和 3 年 11 月 5 日付けで 1 件、令和 4 年 3 月 22 日付けで 11 件の文化財を指定しました（詳細は以下の表のとおり）。また、48 件の暫定登録文化財の登録を行いました。

京都府指定・登録・暫定登録の文化財については、その保護を図るために、所有者が行う修理・保存事業等に必要な経費の一部を補助しています。この冊子では、文化財保護のために行った補助事業の一部を紹介するとともに、指定文化財を写真で、暫定登録文化財を一覧表で紹介しています。

京都府教育委員会が策定した第 2 期教育振興プランでは、「府内各地の文化財が、地域で愛され、誇りとして適切に保存・継承されて」いることを目指す教育の姿としております。

地域の文化財を守り育てていくためには、郷土の歴史や文化への理解を深めていくことが必要です。本冊子が一助となれば幸いです。

令和 4 年 10 月

番号	区分	区別	名称	年代	所在地	所有者	
	建造物	指定	宮津カトリック教会聖ヨハネ天主堂 附 鬼瓦、鱗瓦、主祭壇断片	明治 29 年(1896)	宮津市	カトリック 京都司教区	
		指定	若宮八幡宮本殿 附 覆屋、棟札	天文 19 年(1550)	久御山町	若宮八幡宮	
小計		2 件					
	美術工芸品	指定	紙本墨画淡彩禅宗祖師図 狩野内膳筆 六曲屏風	桃山時代	与謝野町	常栖寺	
		指定	絹本着色十王図 陸信忠筆	元～明時代	京都市	六波羅蜜寺	
		彫刻	指定	木造阿弥陀如来坐像 像内にアン（梵字）アマタ仏等の銘がある	鎌倉時代	京都市	悲田院
			指定	木造金剛力士立像 咩形像の像内に正安三年巧匠定有等の銘がある	阿形：室町時代 咩形：鎌倉時代	亀岡市	金輪寺
		工芸品	指定	金銅能作性塔 木造彩色宝珠台	鎌倉～南北朝時代	木津川市	海住山寺
		古文書	指定	井尻家文書 附 文書箱 文政十三年、嘉永七年及び慶応元年の墨書銘がある	鎌倉～現代	大山崎町	個人
		書跡・典籍	指定	紙本墨書続浦嶋子伝記	鎌倉時代	伊根町	宇良神社
		考古資料	指定	冨山 1 号墳出土品	古墳時代	木津川市	京都府
小計		8 件					
	無形文化財	指定	区分	名称	保持者		
			金工	鑄金	高橋範子（雅号：高橋阿子）		
小計		1 件					
	史跡	指定	淀藩主永井家墓所	江戸時代	宇治市		
小計		1 件					
合計		12 件					

令和 3 年度において、京都府暫定登録有形文化財の美術工芸品 5 件（紙本墨画淡彩禅宗祖師図屏風 狩野内膳筆、木造金剛力士立像 阿形、木造金剛力士立像 咩形、井尻家文書、人物埴輪 冨山 1 号墳出土）及び京都府暫定登録史跡 1 件（淀藩主永井家墓所）が京都府指定文化財となりました。それに伴い、それらの京都府暫定登録文化財の登録が取り消されました。

指定 建造物

みやづ きょうかいせい 宮津カトリック教会 てんしゅどう 聖ヨハネ天主堂

附 鬼瓦、鱗瓦、主祭壇断片

時代：明治29年（1896）

所有者：カトリック京都司教区（京都市）

宮津カトリック教会は、明治29年（1896）宮津市街の大手川左岸に、フランス人宣教師ルイ・ルラブ神父によって設立された教会です。

聖ヨハネ天主堂は、ルラブ神父自らが設計し、地元宮津の大工が施工を行ったものです。昭和2年（1927）の丹後地震で被災した後に増改築が行われ、現在の姿になりました。この教会堂は、カトリック教会堂として全国でも初期の建築として位置づけられ、教会堂の歴史を考える上で貴重です。特に、会衆席の身廊と側廊に敷かれた畳は、我が国における当時のカトリック教会での伝道の姿を今に伝えています。また、御雇い外国人技師とは異なる経路で洋風建築技術が日本に導入されていく一例を示すもので、学術的にも高い価値を有しています。



宮津カトリック教会聖ヨハネ天主堂 全景



同上 会衆席及び至聖所

わかみややはちまんぐうほんでん

若宮八幡宮本殿 附 覆屋、棟札

時代：天文19年（1550）

所有者：若宮八幡宮（久御山町）

若宮八幡宮は、久御山町の東部、木津川と旧巨椋池に挟まれた低地に位置し、平安時代の天徳3年（959）の創建と伝わります。

本殿は、棟札より天文19年（1550）に建立したと判明する三間社流造の社殿で、中世に遡る神社本殿の一つとして貴重です。

平成6年度に府登録としたもので、令和2・3年度の保存修理時に、近世に部材の付加等による装飾的な要素を強める改変が行われたことや、一部の部材に極彩色が施されていた痕跡が残ることなど、建立後の建物の変遷に関する新たな発見がありました。

また、棟札からも建立や修理の経過が確認でき、社殿の修理と地域の災害史との関連が窺い知れることなど、高い歴史的価値を有しています。



若宮八幡宮本殿 全景



同上 正面

指定 美術工芸品（絵画）

しほんぼくがたんさいぜんしゅうそしす かのうないぜんひつ ろつきよくびょうぶ
紙本墨画淡彩禅宗祖師図 狩野内膳筆 六曲屏風

時代：桃山時代 所有者：常栖寺（与謝野町）

与謝野町の常栖寺に伝わる六曲一双の押絵貼屏風です。各一扇に一面ずつ、計十二面に「船子夾山」や「香巖撃竹」などの禅宗祖師にまつわる禅機の場面が描かれています。落款や印章から、桃山時代に活躍した狩野内膳重郷の作と知られます。

狩野内膳は織田信長に仕えた荒木村重の家臣の子であると考えられ、狩野松栄の門人となり狩野姓を許され、主に豊臣家の画事を務めました。本作は山水景を背景に人物や動物などが丁寧に描かれ、狩野内膳の作例のなかでも、真・行・草のうち真体の水墨画の基準的作例として重要な価値を有しています。

また、狩野松栄の父にあたる元信による大仙院障壁画などと共通する図像や、後世に画題のみが伝わっていますが、現存作例に乏しい画題が描かれており、絵手本などをもとに制作を行う狩野派の粉本制作を考える上でも大変貴重な作品です。



右隻全図 画題は右から「黄牛牽牛おうぎゅうけんぎゅう」、「船子夾山せんすかつざん」、「徳山托鉢とくざんたくはつ」、「香巖撃竹かろうないぜん」、「俱胝一指くいていつし」、「三平開胸さんぺいかいきょう（石鞏張弓せつきょうちやうきやう）」



左隻全図 画題は右から「懶瓚煨芋らいざんわいご」、「潘閻騎驢はんげんきろ」、「大満送大智だいまんそうだいち」、「南泉斬猫なんせんざんみょう」、「五祖栽松ごそざいしょう」、「浄瓶趺倒じやうへいてきとう」

けんぼんちゃくしよくじゅうおうず りくしんちゅうひつ
絹本着色十王図 陸信忠筆

時代：元～明時代 所有者：六波羅蜜寺（京都市）

京都市の六波羅蜜寺に伝来した絵画で、冥府において亡くなった者の生前の行いを裁く10人の王をそれぞれ一幅に描く十王図です。秦広王幅、初江王幅、五道転輪王幅の三幅に「陸信忠筆」の落款があり、作風からも南宋から元時代にかけて寧波で活躍したと考えられる陸信忠の工房で制作されたものと認められます。

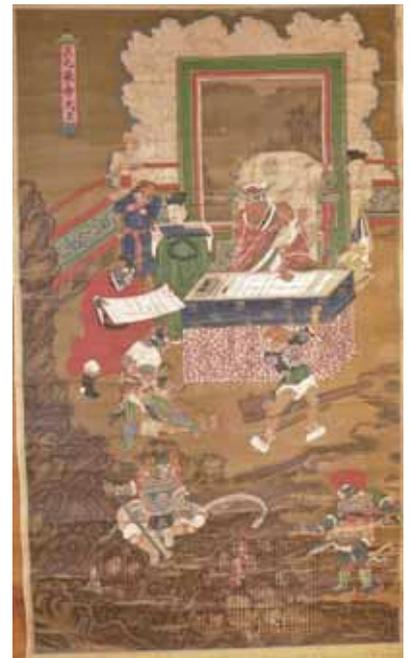
本作は上半分に十王を中心とした冥府の様子を、下半分に地獄で苦しむ罪人の姿を描いており、類例としては奈良国立博物館所蔵の陸仲淵筆本（重要文化財）が知られるのみで、珍しい図様が描かれています。さらに、陸仲淵筆本は現在3幅しか現存しておりませんが、本作は10幅揃った状態で伝来しており、陸仲淵筆本の失われた姿を想像する手掛かりとも考えることができ、大変貴重です。



秦広王幅



初江王幅



宋帝王幅



五官王幅



閻羅王幅



變成王幅



たいざんおう
泰山王幅



ひょうどうおう
平等王幅



としおう
都市王幅



五道転輪王幅

指定 美術工芸品（彫刻）

もくぞうあみだにょらいざぞう
木造阿弥陀如来坐像

像内にアン（梵字）アマタ仏等の銘がある

時代：鎌倉時代

所有者：悲田院（京都市）

高い髻もどりを結び、宝冠ほうかん（亡失）をつけ、袈裟けさを通肩つうけんにまとい、定印じょういんを結んで結跏趺坐けっかふざする阿弥陀如来像です。像内に「アン（梵字）アマタ仏」ほか数名の墨書があり、鎌倉時代の仏師快慶が、「法橋ほつきょう」の位を得る前、比較的若い頃に制作した仏像であることが分かります。

抑揚を抑えながらも張りのある肉身表現や、絵画的に整然と整えられた衣文線などに、快慶の作風がよくあらわれています。また室町時代には泉涌寺に伝来したことが分かり、泉涌寺の歴史を物語る作例としても高い価値があります。



正面



像底



左斜め前



右側面

もくぞうこんごうりき しりゅうぞう
木造金剛力士立像

つんぎょう
吡形像の像内に正安三年巧匠定有等の銘がある

時代：鎌倉時代（吡形）、室町時代（阿形） 所有者：金輪寺（亀岡市）

金輪寺は亀岡市宮前町みやまぎの神尾山の山中にあり、現在、本堂内にこの金剛力士像が安置されています。もともとは仁王門にあり、仁王門が退転して本堂に移されたものです。

吡形像は、像内の墨書銘から正安三年（1301）に巧匠定有という仏師が制作したことがわかります。鎌倉時代後期に遡る、本格的な金剛力士像の基準作として貴重なものです。仏師定有について詳細は残念ながらわかりませんが、動きを抑えた姿態には自然さがあり、優れた技量を持った仏師であったことがうかがえます。

一方、阿形像は吡形像をもとに室町時代に作られた補作とみられます。天文年間の同寺再興の折に造立あるいは修理された可能性も考えられ、寺史、地域史上も高い資料的価値を持つと言えることから、一具として保存を図ることが望ましいと考えられます。



阿形像



吽形像

指定 美術工芸品（工芸品）

こんどうのう さしょうとう
金銅能作性塔
 もくぞうさいしきほうじゅだい
木造彩色宝珠台

時代：鎌倉～南北朝時代

所有者：海住山寺（木津川市）

金銅能作性塔は、内部に水晶製の宝珠を入れる金銅製容器で、上下に分かれる構造です。能作性塔の遺品は奈良・長福寺の能作性塔（国宝・鎌倉時代）のほかには類例が少なく、長福寺のものには失われた内容物（宝珠）とともに伝来する点で価値の高いものです。

木造彩色宝珠台は、片側に石清水八幡宮、反対側に聖徳太子が勝鬘経を説く様子を描き、全体として石清水八幡宮のある男山をかたどった珍しい工芸品で、頂上部にくぼみを設けて宝珠が乗せられるようになっています。

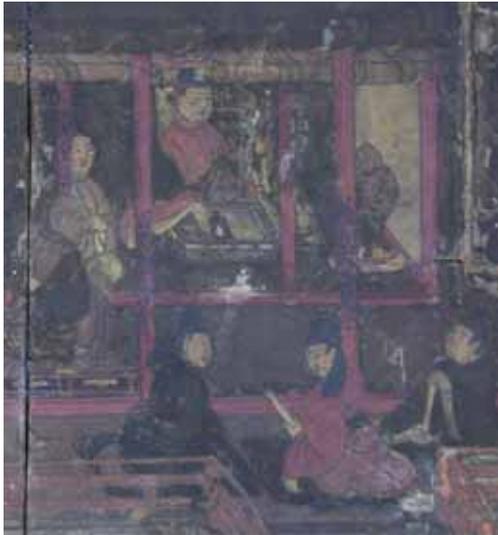
宝珠台のくぼみが、能作性塔とともに伝来した水晶製の宝珠に相応しい大きさであることに加え、石清水八幡宮や聖徳太子と宝珠信仰には深い関わりがあり、両作品は、南都の特色ある宝珠信仰を示す類例のない優れた工芸品と言えます、一体で保護を図ることが望ましいと考えられます。



金銅能作性塔



水晶製宝珠



聖徳太子の勝鬘經講讃の場面（拡大図）



木造彩色宝珠台（聖徳太子勝鬘經講讃図）

※反対側は表紙参照

指定 美術工芸品（古文書）

いじりけもんじょ 井尻家文書 附文書箱

文政十三年、嘉永七年及び慶応元年の
墨書銘がある

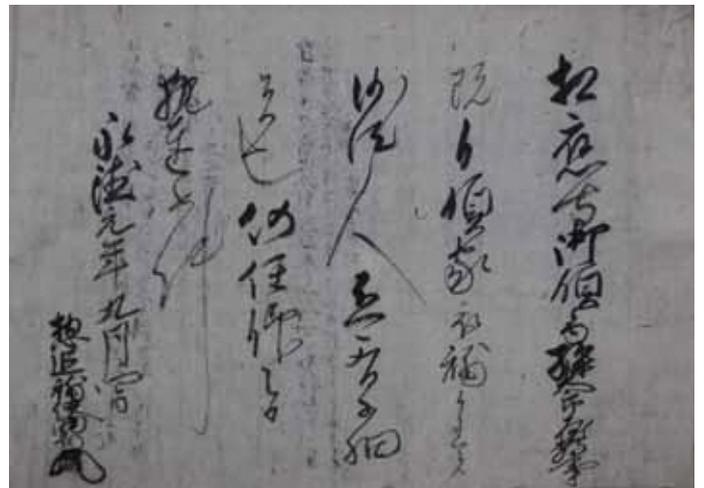
時代：鎌倉～現代 所有者：個人

井尻家文書は、大山崎町大字大山崎に所在する井尻家に伝来した、鎌倉時代から現代に至るまでの計1100点余りの古文書です。

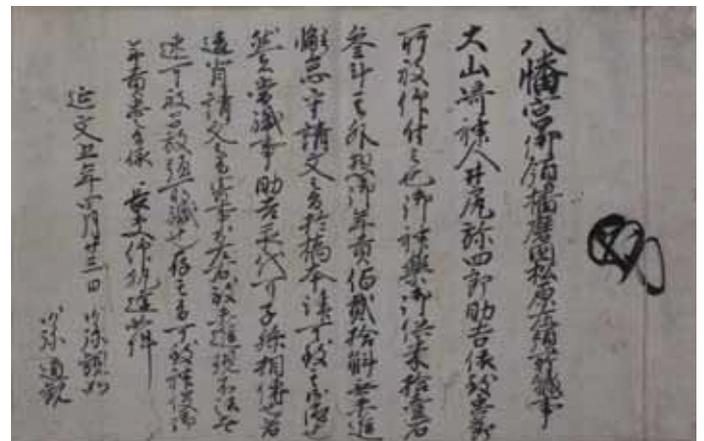
井尻家は、「^{はた}秦」氏を名乗り、鎌倉時代にはすでに大山崎の「井尻保」と呼ばれる地域周辺に居住していたと考えられる家で、室町時代には大山崎の神人、江戸時代には社家などとして一貫して地域の有力者として活動をしています。

文書のうち最も古いのは鎌倉時代の応長元年（1311）のもので、他に室町時代以前の文書も約30点残りますが、特に播磨国（現在の兵庫県）での荘園支配に関わる文書は、大山崎神人の活躍を伝える貴重な資料です。文書の大部分は江戸時代や明治時代のものですが、元治元年（1864）の禁門の変に関係する類火により、系図や古文書などを焼失したと伝わっており、時期や内容によって文書の残り方に差があります。

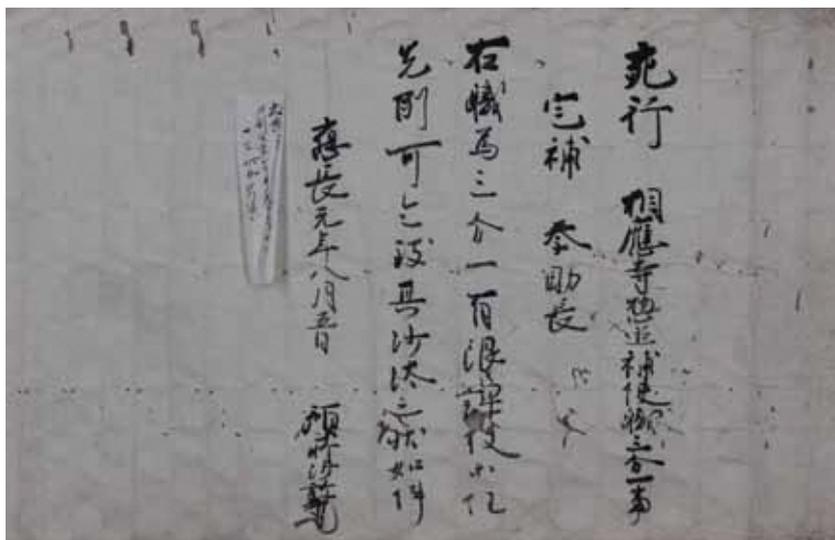
このように本資料は、長期にわたりほぼ同一の場所に居住し続けた家によって伝世されてきた、鎌倉時代以降現代までの長期間に及ぶ極めて珍しい資料で大変貴重です。なお、これらの文書は、江戸時代末に作成された文書箱3箱にまとめて保存されてきたことから、文書箱もあわせて指定されています。



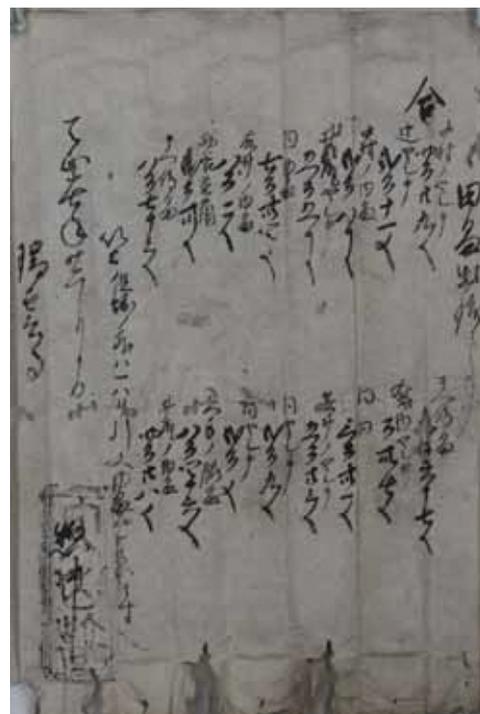
井尻助尚遵行状（永徳元年 [1381]）



石清水八幡宮別当家奉書（延文5年 [1360]）



預所沙弥宛行状 (応長元年 [1311])



田畑出銭之事 (天正 17 年 [1589])

指定 美術工芸品(書跡・典籍)

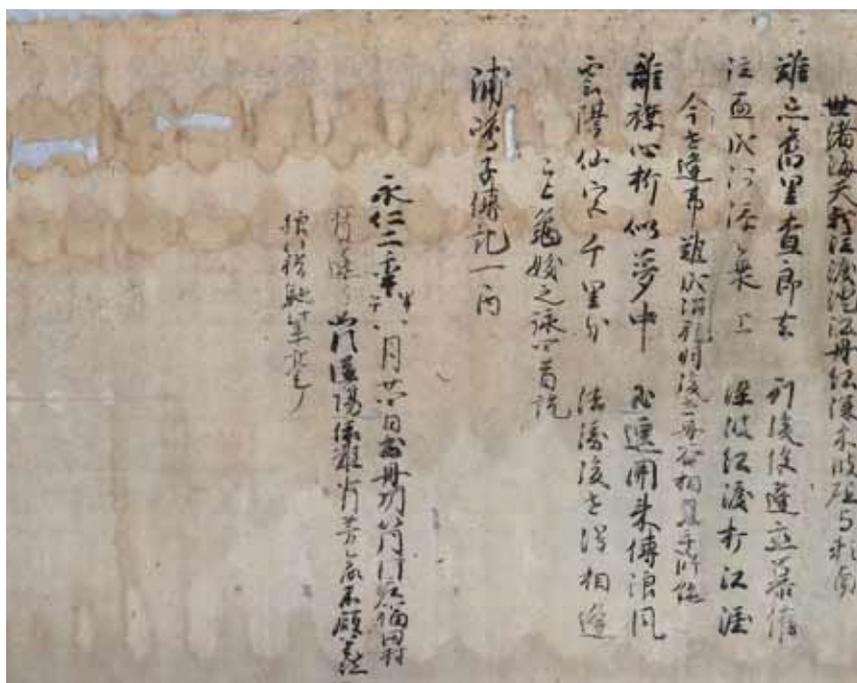
しほんぼくしよぞくうらしまこでんき
紙本墨書続浦嶋子伝記

時代：鎌倉時代 所有者：宇良神社（伊根町）

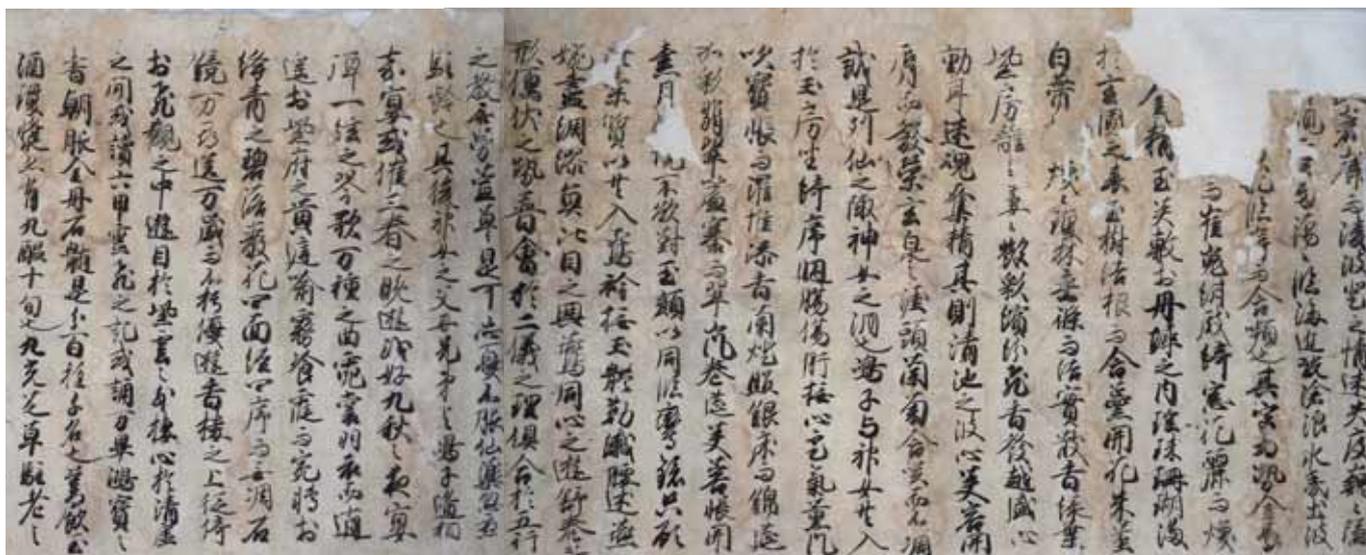
伊根町本庄浜にある宇良神社（浦嶋神社）は、浦島太郎の物語としても著名な浦嶋子を祭神とする神社です。

この宇良神社に伝わった「続浦嶋子伝記」は、浦嶋伝説を記した「浦嶋子伝」に、漢詩などを加えて平安時代の延喜 20 年(920)に成立したとされるもので、後の様々な浦嶋伝説のもとになった資料の一つです。奥書には、鎌倉時代の永仁 2 年(1294)に「丹州筒河庄福田村」の「如法道場宝蓮寺」で写したとの記載があり、詳細な場所は特定できませんが、「筒河庄」は現在の宇良神社のそばを流れる「筒川」に由来する名称のため、鎌倉時代に現在の宇良神社周辺で書写されたことが確実な資料です。現在は 8 紙が残りますが、一部に欠損があり、もとは 12 紙ほどあったと推定されます。紙の質などから後の時代に写したものではなく、奥書に記された鎌倉時代に写された可能性が高いものです。

このように、本資料は「続浦嶋子伝記」の現在伝わるなかで最も古い写本であり、また、日本史上最も著名な説話の一つである浦嶋伝説の古い時代の様子を残すものであり、歴史学、国文学上たいへん貴重な資料です。



続浦嶋子伝記 奥書部分



続浦嶋子伝記 現存第1紙及び第2紙(部分)

指定 美術工芸品(考古資料)

かぶとやま ごうぶんしゅつ ど ひん
冑山1号墳出土品

所有者：京都府

管 理：山城郷土資料館

城陽市観音堂にかつて存在した冑山1号墳は、6世紀前半に築造された全長約40mの前方後円墳です。昭和の京都府教育委員会による発掘調査で、墳丘に樹立する埴輪と横穴式石室の副葬品といった、調査の時点で古墳に残っていた遺物のすべての出土位置が記録され回収されました。

埴輪の大部分は円筒埴輪で、墳丘を全周して配置されていました。また、人物埴輪(男子像)や馬形埴輪、家形埴輪といった形象埴輪も出土しており、墳丘くびれ部にまとめて配置されていました。これらの埴輪群は、古墳時代の男性の服装や器物の形状、さらに古墳の墳丘上で行われた埴輪祭祀の実態を示すものです。

横穴式石室の副葬品は、須恵器や玉類、鉄製武器、鉄製馬具から構成されます。金属製品をみると、冑山1号墳の副葬品は実用的で簡素な構成となり、他の前方後円墳出土品でみられるような金銅製品や銀製品は含まれません。当時のこの地域には、さらに力のある有力者が別に存在し、冑山1号墳被葬者はそれに次ぐ地位にあったのかもれません。

また、埴輪や鉄製武器、須恵器等の多様な遺物の一括出土品である冑山1号墳出土品は、他の古墳との前後関係を検討する上で重要な指標となる資料群で、学術的にも高い価値を有します。



冑山1号墳出土品

指定 無形文化財（金工）

ちゅうきん 鑄金

保持者：高橋範子（雅号：高橋阿子）

住 所：京都市

金工の主要な技法に鑄金、鍛金、彫金がありますが、中でも鑄金は、高温で溶融した金属を鑄型に注ぎ込み、冷却、凝固の後、鑄型から取り出して仕上げの処理を施す技法です。

高橋範子（阿子）氏は、昭和22年（1947）宮城県気仙沼市に生まれました。立花や生花などを本格的に学んだ後、金工の世界に魅せられ、蠟型師で金工作家の加茂靈峰氏に師事して蠟型鑄造の技術を習得し、伝統工芸展へ出品していきました。昭和56年（1981）伝統工芸第10回日本工芸会近畿支部展に初出品して受賞すると、その後日本伝統工芸展を中心に出品して入選を重ねています。平成30年（2018）第65回日本伝統工芸展に出品した「蠟型鑄銅花器『早瀬』」が日本工芸会奨励賞を、令和3年（2021）第68回日本伝統工芸展で「蠟型鑄銅花器」が東京都知事賞を受賞するなど、立花や生花の知識を背景に確かな技術から生み出された優れた造形力は高く評価されています。



第68回日本伝統工芸展 東京都知事賞
蠟型鑄銅花器



高橋阿子氏

指定 史跡

よどはんしゅながいけぼしよ 淀藩主永井家墓所

時代：江戸時代

所在地：宇治市

淀藩主永井家墓所の所在する興聖寺は、鎌倉時代に道元が開創した曹洞宗の寺院で、もとは京都深草の地にありましたが、応仁の乱などの戦乱によって寺勢が衰えていました。江戸時代前期の淀藩主永井尚政は、興聖寺の荒廃を憂い、宇治の朝日山麓に再興すること

を決意します。そして、再興のなった慶安二年（1649）に、父母と自分、妻の墓塔、さらに父、直勝の事績を記した頌徳碑を境内北西部に建て、以降、永井家の墓所としました。

永井家墓所は、中心に興聖寺開山墓、歴代住持の墓があり、その左右に永井家各代の石塔が並ぶという珍しい配置で、この構成は当初から現在まで維持されています。また、頌徳碑に記された直勝の事績は、林羅山の筆によるもので、文化的な価値も高いものと評価されます。

永井家墓所は、江戸幕府による畿内経営の要であった淀藩の統治を担った譜代大名・永井家のあゆみと、京都府南部を代表する名刹・興聖寺の歴史を今に伝える史跡です。



淀藩主永井家墓所

京都府指定・登録・暫定登録文化財等の保存修理事業等

令和3年度に行った京都府指定・登録・暫定登録文化財の保存修理事業等の概要を紹介します。

【1】建造物

文化財の適正な保存のために実施される事業経費の一部について、要綱に定めるところにより補助金を交付しています。建造物の管理と修理を主な対象としており、令和3年度は新規26件、継続8件の保存修理事業について助成しました。

京都市北区の平野神社拝殿（平成26年指定）は、江戸時代前期に遡る貴重な建造物です。平成30年の台風21号により倒壊しました。被災による破損が甚大なため、各部材を丁寧に補修しながら組み立てる解体修理を、令和元年度から3箇年で行いました。



被災直後の様子 ※平野神社 HP より



小屋組復旧の状況



竣工した拝殿

【2】美術工芸品

美術工芸品では、掛軸、襖絵、古文書などを対象とした保存修理事業や防災施設整備事業を行っています。令和3年度は継続6件、新規7件の保存修理事業と継続1件、新規1件の防災施設整備事業に助成しました。

一般社団法人京都當道会（京都市上京区）が所有する絹本着色日吉山王垂迹神曼荼羅図及び日吉山王本地仏曼荼羅図（平成19年度指定）は、それぞれ鎌倉時代と南北朝時代に遡ると考えられる、京都府内では同作例のなかでも最古例に属するとともに貴重な作品です。

経年の劣化により本紙全体に大小さまざまな折れが生じ、料絹や顔料の剥離や剥落が見られることから、令和2・3年度の2箇年で完全解体修理を行うことになりました。

絵画の修理では肌裏紙の取り替えが要となります。絹本絵画では料絹の裏からも顔料を塗ることがあり、今回の修理でも丁寧に肌裏紙を除去した結果、裏彩色の様子を確認することができました。



絹本着色本地仏曼荼羅の肌裏紙除去後の裏面の様子（左）と修理完了後の様子（右）
（写真提供：株式会社光影堂）

【3】史跡名勝天然記念物、文化的景観

指定地内で自然崩落した土地の整地、説明板・境界標・警報・消火設備の設置等の管理に係る事業や樹木の剪定・樹勢回復、き損や劣化した石垣・園池等改修事業、保護増殖施設の設置などに係る事業を対象としています。

令和3年度は、継続2件の修理事業等に助成しました。名勝両足院庭園（京都市東山区）において排水処理工事と危険木の伐採、そして、史跡萬福寺境内（宇治市）において土堀改修等を行いました。



両足院庭園での危険木伐採の状況

【4】文化財環境保全地区保存事業

参道等の復旧整備、災害復旧等の事業を対象としています。令和3年度は新規4件の事業を助成しました。武内神社（精華町）は本殿を囲う塀の修理を行い、多治神社（南丹市）は説明板の設置を実施しました。

令和3年度京都府暫定登録文化財一覧(48件)

文化財の名称には一部略称を使用した。

建造物

- 【八幡市】 相槌神社本殿 春日神社本殿 石田神社本殿 西遊寺本堂 西遊寺観音堂 西遊寺鐘楼
西遊寺表門 神應寺本堂 神應寺開山堂 神應寺禅堂 神應寺衆寮 神應寺書院 神應寺
鐘楼 神應寺山門

美術工芸品 []内所有者

絵画

- 【福知山市】 絹本着色釈迦十六善神像 [威光寺]
【綾部市】 絹本着色高峰顕日像 此山妙在の賛がある [安國寺] 絹本着色無外妙方像 大岳周崇の賛がある [安國寺] 絹本着色無外妙方像 祖立の賛がある [安國寺] 絹本着色釈迦十六善神像 [楞嚴寺] 絹本着色愛染明王像 [楞嚴寺]
【亀岡市】 絹本着色仏涅槃図 [光忠寺] 絹本着色釈迦十六善神像 [如意寺]
【八幡市】 神應寺障壁画 [神應寺]
【京丹後市】 絹本着色釈迦十六善神像 [常立寺] 絹本着色仏涅槃図 [萬松寺]

彫刻

- 【綾部市】 木造千手観音立像 [正暦寺]
【福知山市】 木造金剛力士立像 [観音寺]
【宇治市】 木造菩薩坐像 [寶壽寺] 木造阿弥陀如来立像 [極楽寺] 木造男神坐像及び木造女神坐像 附木造
狛犬 [下居神社] 木造十一面観音立像 [恵心院] 木造阿弥陀如来立像 [恵心院]
【亀岡市】 木造薬師如来立像 [極楽寺] 木造神像 [王子神社] 木造地藏菩薩坐像 [峠の子安地藏尊保存会]
【長岡京市】 木造狛犬 [乙訓寺]
【木津川市】 木造大日如来坐像 [浄瑠璃寺] 木造阿弥陀如来坐像 [現光寺] 木造四天王立像 [現光寺]
【久御山町】 木造狛犬 [雙栗神社]
【精華町】 木造阿弥陀如来坐像 [阿彌陀寺]

古文書

- 【舞鶴市】 河辺八幡神社棟札類 [八幡神社]
【亀岡市】 金輪寺奉加帳 [金輪寺]
【宇治田原町】 龍雲寺大般若経 附経櫃 慶応二寅年正月十六日の銘がある [龍雲寺]

歴史資料

- 【八幡市】 石清水八幡宮摂社若宮社殿内安置厨子収納品 [石清水八幡宮]

考古資料

- 【舞鶴市】 鎮壇具 松尾寺遺跡出土 黒釉白堆線文壺 満願寺跡出土

史跡

- 【木津川市】 鹿背山不動院境内



木造薬師如来立像 (亀岡市極楽寺)



神應寺障壁画 (八幡市神應寺) のうち竹虎図杉戸 (部分)

京都府指定・登録等文化財市町村別件数一覧（令和4年9月1日現在）

種別	有形文化財																民俗文化財				記念物				指定登録小計		文化財環境保全地区			暫定登録文化財	合計							
	美術工芸品																無形文化財	有形		無形		史跡	名勝	天然記念物	天然記念物及び名勝	指定	登録	決定	選定			文化的景観						
	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡典籍	古文書	考古資料	歴史資料	小計	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定		登録	指定	登録																		
市町村	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	指定	登録	決定	選定	選定											
京都市	49	8	34	15	1	20	6	10	10	7	1	102	2	9	2	1	2	3	1	2			169	12	1	2		496	680									
向日市	2	1										1	0				1						4	1			1	34	40									
長岡京市	1	1	2	5				2	1			10	0						1		1		12	2	1			74	89									
大山崎町		1		1			1	1	1			4	0									4	1				6	11										
宇治市	11	3		3	1			2	3			9	0			1	2	4				27	3	2			85	117										
城陽市		4		1							1	1	1			2						1	7	4			18	30										
八幡市	5	2		3	2	1	2	1				9	0			1	1	1	1			17	3	2			40	62										
京田辺市	1	5	3	2	1			1	1	1		7	2					2				10	7	6			14	37										
木津川市	4	8	2	1	4	3	3	1		1	1	12	5			3	1	5	1		1	19	21	8			89	137										
久御山町	1									1		0	1					2				1	3				7	11										
井手町	1	1			1			1	1			2	1							1		4	2	2		1	2	11										
宇治田原町	1	3		1								1	0			1	1					3	4	2			8	17										
笠置町		2	1				1	1				3	0				1					3	3	1			10	17										
和束町	1	1	2	2								4	0			2	1			1		6	4	1		1	2	14										
精華町	1	1				1						1	0			2						4	1	2			12	19										
南山城村	2	1							1			1	1			1						2	3	1		1	5	12										
亀岡市	7	6	3	5	2	2		2			3	14	2			1	1	3		3	1	26	13	7			99	145										
南丹市	7	8	1	2	1	2	1	1	1			6	3			2	10	3		1		19	21	7			52	99										
京丹波町	1	5	2	3	1	1		2	2			9	2			1	3			1		12	10	2			23	47										
綾部市	7	7	1		1	2	1	1	1	1		6	2	1			3		1	1		16	12	5		1	24	58										
福知山市	5	4	6	1	1	2	2	2	4	3		18	3	1	1	2	6	3		2		32	13	5		2	45	97										
舞鶴市	8	3	3	2	2		1	3	2	1		12	2			1	11		2			22	17	3			41	83										
宮津市	7	1	4	5	2	1	2	5	1	3	1	22	2			3	1	2		3	1	34	8	1		1	52	96										
京丹後市	5	5	3	7	2	4			1	1	6	1	1			3	11	7		1	1	35	25	3		2	73	138										
伊根町		1	1				1	4				6	0			2	5					8	6				4	18										
与謝野町	3	2	2			1				2		5	0			1	3	4		2	2	17	5	3			20	45										
地域定めず												0	0									0	5					5										
合計	128	85	71	8	57	9	43	9	16	1	44	8	39	1	13	2	283	38	11	0	3	12	21	70	26	0	19	1	15	6	1	507	212	69	2	10	1335	2135
	213	79	66	52	17	52	40	15	321	11	15	91	26	20	21	1	719																					

※重要文化財及び府指定文化財等に指定又は文化財の焼失等により府の指定・登録が解除、取消となった数は除く。

文化財保護 NO.40

令和4年10月発行

守り育てようみんなの文化財

発行 京都府教育委員会
 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
 編集 京都府教育庁指導部文化財保護課
 TEL (075)414-5901